



目 次

1. UXP初級講習会開催のお知らせ	1
2. Fortran講習会開催のお知らせ	2
3. UXP中級講習会開催のお知らせ	3
4. VP講習会開催のお知らせ	3
5. UNIX版SAS公開のお知らせ	4
6. 平成8年度後期プログラム相談員募集のお知らせ	6

1. UXP初級講習会開催のお知らせ

標記講習会を下記の要領で開催いたします。希望者は共同利用掛（ダイヤル 092-642-2305）にお申し込みください。

記

- ・日 時 9月9日(月)・10日(火) 10時～15時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 UXP (UNIX) 初心者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 UNIXの基本コマンドとエディタ (mule) の基本的な使用法及び初歩的な X Window の環境設定と使用法の解説と実習
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室 (3階)
- ・講 師 研究開発部 山元 規靖
- ・テキスト センターで用意

・時間割

10:00 12:00 13:30 15:00

1日目	UNIXの基本コマンドとmuleの概説	昼 休 み	実 習
-----	---------------------	-------------	--------

10:00 12:00 13:30 15:00

2日目	X Windowの概説	昼 休 み	実 習
-----	-------------	-------------	--------

- ・申込期間 8月29日(木)～9月4日(水)
(なお、募集定員に達し次第締め切ります)

2. Fortran 講習会開催のお知らせ

標記講習会を下記の要領で開催いたします。希望者は、共同利用掛(ダイヤル 092-642-2305)にお申し込みください。

記

- ・日 時 9月12日(木) 10時～15時
- ・受付時間 9時30分～9時50分
- ・対 象 センター利用経験者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 センターのUXP及びMSPシステムでFortranを利用するための基本的なコマンド、環境の解説及び実習(Fortran文法についての解説は行いません)
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・講 師 研究開発部 渡部 善隆
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:00 12:00 13:30 15:00

Fortranの実行方法の解説	昼 休 み	実 習
-----------------	-------------	--------

- ・申込期間 9月2日(月)～9月6日(金)
(なお、募集定員に達し次第締め切ります)

3. UXP 中級講習会開催のお知らせ

標記講習会を下記の要領で開催いたします。希望者は、共同利用掛（ダイヤル 092-642-2305）にお申し込みください。

記

- ・日 時 9 月 18 日（水） 10 時 ～ 15 時
- ・受付時間 9 時 30 分 ～ 9 時 50 分
- ・対 象 UXP（UNIX）でプログラム開発を始める方
- ・募集人員 20 名
- ・内 容 ファイル管理，外部メディア・出力機器の活用法等についての解説及び実習
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3 階）
- ・講 師 研究開発部 山元 規靖
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:00	12:00 13:30	15:00
解 説	昼 休 み	実 習

- ・申込期間 9 月 4 日（水）～ 9 月 10 日（火）
（なお、募集定員に達し次第締め切ります）

4. VP 講習会開催のお知らせ

標記講習会を下記の要領で開催いたします。希望者は共同利用掛（ダイヤル 092-642-2305）にお申し込みください。

記

- ・日 時 9 月 20 日（金） 10 時 ～ 15 時
- ・受付時間 9 時 30 分 ～ 9 時 50 分
- ・対 象 センター利用経験者
- ・募集人員 30 名
- ・内 容 Fortran プログラムをベクトル計算機 VP2600/10 で実行するための方法及びチューニングの注意点の解説及び実習
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3 階）
- ・講 師 研究開発部 渡部 善隆
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:00	12:00 13:30	15:00
解 説	昼 休 み	実 習

- ・申込期間 9 月 9 日（月）～ 9 月 13 日（金）
（なお、募集定員に達し次第締め切ります）

5. UNIX 版 SAS 公開のお知らせ

UNIX 版 SAS を 9 月 2 日 (月) よりアプリケーション・サーバー qapls(IP アドレス 133.5.8.40) 上で公開します。UNIX 版 SAS は X サーバーが動作するワークステーション、X 端末で動作します。バージョンは 6.09, サポートするプロダクトは汎用計算機の MSP 版と同じ BASE, STAT, GRAPH, ETS, IML です。

UNIX 版 SAS の使用方法は参考文献 [1], [2] を参照下さい。それぞれセンター 2 階のプログラム相談室, 4 階の図書室で閲覧できます。また, 各プロダクトのマニュアルは MSP 版と共通です。

qapls の利用登録

qapls の利用登録は汎用計算機 M-1800/20U の UXP システム (ホスト名 kyu-cc) より touroku コマンドで行います。

```
kyu-cc% touroku qapls       <--- qapls の利用登録
Password:                <--- パスワードの入力
OK. User a79999a added in qapls
```

X Window の環境設定

利用者のワークステーションのプロンプトを user%, IP アドレスを XXX.X.X.XX とします。まず, 利用者のワークステーションから qapls に対して xhost コマンドにより X サーバーの利用資格を与えます。なお, センター 2 階の X 端末ではこの設定は必要ありません。

```
user% xhost 133.5.8.40       <--- X サーバーの利用資格を与える
```

次に, qapls に login し, setenv コマンドにより, DISPLAY 環境を設定します。

```
user% telnet 133.5.8.40       <--- qapls に telnet
Trying 133.5.8.40 ...
Connected to qapls.cc.kyushu-u.ac.jp.
Escape character is '^]'.

SunOS UNIX (qapls)

login: a79999a       <--- 登録番号
Password:            <--- パスワード
:
qapls% setenv DISPLAY XXX.X.X.XX:0.0  <--- DISPLAY 環境の設定
```

SAS の起動

起動コマンドは sas609(/usr/local/bin/sas609) です。

```
qapls% sas609       <--- UNIX 版 SAS の起動
```

コマンド入力後, “LOG”, “OUTPUT”, “PROGRAM EDITOR” の 3 つのウィンドウと, “Session Management” のアイコンが表示されます。なお, 一度に SAS を利用できる人数は 3 人までです。

X Window の環境設定が不完全な場合は

```
ERROR: Cannot open X display. Check display name/server access authorization.
```

というメッセージが表示されます。なお、サンプルプログラムが /usr/local/sas_sample 下にありますので、コピーして使用下さい。

また、-nodms オプションにより、X 以外の環境からでもラインモードで利用できますが、機能は大幅に制限されます。

```
qapls% sas609 -nodms  <--- ラインモードでの起動
NOTE: Copyright (c) 1989-1992 by SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.
NOTE: SAS (r) Proprietary Software Release 6.09 TS042 DBCS2511
      Licensed to SAS INSTITUTE TRIAL SITE, Site 0009133028.
      :
1? endsas;  <--- SAS の終了
```

出力

SAS の LOG および OUTPUT ウィンドウの表示は、メニューの

ファイル → プリント → プリントファイル

を選択することで任意のテキストファイルに出力されます。テキストファイルはセンター 2 階のネットワークプリンタに lp コマンドによって出力できます。

```
qapls% lp sas.out  <--- 2 階のプリンタへの出力
```

SAS/GRAPH のグラフィックス画面をプリンタ/ファイルに出力するには、SAS プログラムの filename にファイル名またはプリンタ名を、さらに goptions に device と gaccess を追加して下さい。

【SAS/GRAPH の出力例】

1. PostScript ファイル sas.graph.ps に A4 横 (ランドスケープモード) で保存。アンダーラインの部分がグラフィックス出力用に追加した部分です。

```
filename gsasfile 'sas.graph.ps';
goptions reset=global gunit=pct border
      device=PSLLA4 gaccess=gsasfile
      ftext=swissb htitle=6 htext=3;
```

デバイスドライバはグラフィックスウィンドウの ファイル → プリント を選択することで一覧表示することができます。センター 2 階のネットワークプリンタへ PostScript ファイルを出力する場合は lp コマンドで出力します。

```
qapls% lp sas.graph.ps  <--- PostScript ファイルの出力
```

2. 直接プリンタに出力する。

ファイルに出力せずに、直接ネットワークプリンタに出力するには、filename に lp と書いて下さい。

```
filename gsasfile pipe 'lp';
goptions reset=global gunit=pct border
         device=PSLLA4 gaccess=gsasfile
         ftext=swissb htitle=6 htext=3;
```

3. カラーで出力

カラーグラフィックスで出力する場合は、一度イメージデータにセーブした後、イメージデータの加工ツール (xv など) で各データに変換する方法をお勧めします。

ここでは GIF 形式のファイル sas.graph.gif に保存する例をあげます。

```
filename gsasfile 'sas.graph.gif';
goptions reset=global gunit=pct border
         device=IMGGIF gaccess=gsasfile
         ftext=swissb htitle=6 htext=3;
```

なお、センターのフルカラープリンタへの出力方法は [3] を参照下さい。

参考文献

- [1] UNIX 版 SAS システム: ガイドブック, Version 6, First Edition.
- [2] UNIX 版 SAS システム使用の手引き, Version 6, First Edition.
- [3] 肥田木 直子: まあ, お茶でも飲みながら III — ファイル転送を使つての画像出力の巻 —, 九州大学大型計算機センター広報, Vol.29, No.1, 8-14 (1996).

(ライブラリ室 ダイヤルイン 092-642-2295)
e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

6. 平成8年度後期プログラム相談員募集のお知らせ

当センターでは、月曜日から金曜日までの午後プログラム相談を行っています。質問者への助言、技術指導等のため下記によりプログラム相談員を募集しますのでお申込みください。

なお、詳細は共同利用掛にお尋ねください。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 応募資格 | センター利用有資格者 |
| 2. 担当時間 | 週1回 (1.5時間) |
| 3. 任 期 | 平成8年10月 ~ 平成9年3月 |
| 4. 特 典 | 指導用計算時間(任期中 60分)
相談用マニュアル(一定限度まで配付) |
| 5. 申込期間 | 9月13日(金) |
| 6. 申込み先 | 九州大学大型計算機センター
共同利用掛(ダイヤルイン 092-642-2305) |